

バロー売上高20%増

9月中旬過去最高3367億円

バローホールディングス（HD）が7日発表した2019年9月中旬連結決算は、売上高に相当する営業収益が前年同期比20・4%増の3367億3500万円となり、過去最高を更新した。増収は25期連続。アレンザHDの子会社化による店舗数の増加に加え、ドラッグストア（DS）事業が好調に推移した。営業、経常、純利益は、人手確保に伴う人件費の上昇で2期ぶりの減益となった。

主力のスーパーマーケット（SM）事業は、千葉県でデイスカウント店を展開するてらお食品を子会社化し、同社の2店舗を含む9店舗を新設。生鮮食品を中心に商品力を高めたほか、資本業務提携したアークス（札幌市）、リテールパートナーズ（山口県）と限定商品の導入などで売り場を

強化し、売上高は6・4%増となった。

DS事業は、名古屋市内で都市部向けの店舗を開設し、総菜売り場を充実させてオフィス街のランチ需要に対応するなど地域に合わせた店を展開。既存店も売上高が7・9%増えるなど事業全体で11・2%伸びた。ホームセンター（HC）

事業はアレンザHDのホームセンターが110店加わり、売上高は2倍に増えた。損益面では、SM事業で利益率の改善を進めたものの、人手確保のための人件費上昇が利益を押し下げた。

上期の新設は60店舗、閉鎖は8店舗で、グループの9月末の総店舗数は、アレンザHDの192店を含めて1124店となった。

20年3月期は、SM事業の利益率の改善を進め、増収増益を見込む。

県内企業2019年9月中間決算

	売上高		経常損益		純損益		配当
バローHD							
(連)	336,735	(20.4)	8,194	(▲4.4)	3,797	(▲25.8)	24.00
(予)	660,000		18,300		9,000		52.00
エスライン							
(連)	24,860	(1.7)	605	(▲34.1)	311	(▲45.5)	8.00
(予)	51,000		1,600		980		18.00
文溪堂							
(連)	8,003	(4.9)	1,616	(6.5)	1,127	(8.0)	15.80
(予)	12,020		833		542		31.60
和井田製作所							
(連)	4,118	(1.5)	1,024	(9.3)	711	(8.4)	25.00
(予)	8,305		1,759		1,224		50.00

【注】単位は百万円、%、配当は円。(連)は連結、(予)は2020年3月期予想。カッコ内は前年同期比増減率。▲はマイナス。配当の下段は年間配当予想。